

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名 称：コロナ禍を共に生きる#6 ウィズ／ポストコロナ時代の民主主義を考える：
「誰も取り残されない」社会を目指して

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

3 開催日時：令和4年3月15日（火）13:00～16:50

4 開催場所：オンライン

5 開催趣旨：

2020年初頭から世界的に感染拡大した COVID-19 は、それ以前から世界が抱えていた問題を顕在化させ、増幅した。差し迫った疫病の不安は、リスク配分に関する不公平感や、全体の安全と私的自由の相克、弱者への対応の不備など、様々な問題を改めて浮かび上がらせた。沸騰する議論のなかで、社会の基盤である民主主義や社会信頼の揺らぎを危惧する声さえ上がっている。本フォーラムは、社会理論研究の立場から、COVID-19 の波に翻弄される社会の動態を俯瞰的に検討し、「誰も取り残されない」未来を展望する。

6 参加人数：

講演者等：10名

その他の参加者：最大同時視聴者数 159

7 特記事項：

本フォーラムの成果は、社会理論分科会の審議活動（意思の表出）に反映される。
本フォーラムでの議論は、『学術の動向』に特集企画として掲載の予定である。